

# まるりん通信



公益財団法人屋久島環境文化財団 TEL0997-42-2911 FAX0997-49-1018

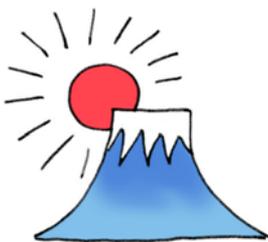
## 新年明けまして おめでとうございます

旧年中は屋久島環境文化村センター、研修センターへの御支援・御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

今後とも皆様の御期待に添えますよう、環境文化村構想の推進に努めて参ります。

皆様にとって今年一年が良い年でありますよう、職員一同、心より御祈念申し上げます。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。



平成30年 元旦



### 冬～春の

### 1日エコツアー！

参加費：500円

問合せ・申込み先：

屋久島環境文化研修センター

締切：開催日の1週間前まで

電話：46-2900

FAX：49-7015

『第2回屋久島環境未来ミーティング』	1月21日（日曜日）
定員：100名（先着順）	場所：安房公民館
対象：どなたでも（高校生以下無料）	担当：福元

『ボタニカルサシェをつくろう！』	1月28日（日曜日）
定員：20名（先着順）	場所：研修センター周辺
対象：小学生以上（中学生以下は保護者同伴）	担当：今村

『大人の塩作り』	2月18日（日曜日）
定員：12名（先着順）	場所：研修センター
対象：高校生以上（中学生以下は要相談）	担当：丸山

『とって・見て・楽しむ、川の生き物観察会』	3月21日（水曜日）
定員：15名（先着順）	場所：研修センター、春田浜
対象：小学5年生以上（中学生以下は保護者同伴）	担当：本間

#### ◆村センターメンテナンス休館について

村センターでは、施設メンテナンスを行うため、

下記のとおり休館とさせていただきます。

皆様には御迷惑をお掛けしますが、御理解・御協力をお願いします。

平成30年1月22日(月)～1月31日(水)

#### ◇村センター・研修センター休館日のお知らせ

村センター

1/16(火)、1/22(月)～1/31(水)、2/20(火)

研修センター

1/8(月)、1/15(月)、1/22(月)、1/29(月)、

2/5(月)

新しい年のはじまりで少しソワソワしていた空気も落ち着き始めましたが、自然の中はまだまだ凜とした空気に包まれて、満天の星空が綺麗に見える季節が続いています。少し通り過ぎてしまいましたが、新しい年を迎えるお正月には門松・しめ縄など玄関や家に飾られる縁起物にいろいろな植物が使われます。今回はそんなお正月に飾られる植物の意味を少しご紹介します。

そもそもお正月はなぜ「正月」というのか。「正」は「あらためる、きちんとする」などの意味があり、「正月」は1年の初めとして「魂が若返り、新しくなる月」という意味となります。そして、そのお正月に使われる植物にもひとつひとつ、それに関連づけた意味があります。

例えば門松に使われる「松・竹・梅」。お正月には年神様という神様が高い山の上から降りてきて各家を回るとされ、門松は年神様が家を見つけやすいように目印として松の飾りを立てたことが始まりとされています。

現在、門松に使われている「松・竹・梅」は縁起物として有名です。

松は紅葉せず、常に葉が緑色をしている常緑樹なので「永遠の命」の象徴。

竹は、強風にも折れず、まっすぐ伸びる姿から「誠実」や「強い意志」。

梅は高齢になっても、寒さがまだ厳しいなか他の花に先駆けて咲き、芳香で周りを包むことから「気高さ」、「長寿」、「開運」の象徴とされています。

他にも、しめ縄に使われるウラジロシダは仲良く2枚の葉が生えており、また葉の裏が白いことから「夫婦円満」、「清らかな心」を意味しています。

昔の人は自然の姿からいろいろな意味を感じていました。もしかしたら、身近にある自然の中に自分の生き方に繋がるヒントが隠れているのかもしれませんが。ぜひ1年のスタートに、そんな発見を探してみたいはいかがでしょうか。



【サイト名】 TADAira (タダイラ)

【URL】 <http://www.taka.co.jp/tada/index.html>

## 活動報告

### ★冬の映画上映会

12月16日(土)、屋久島電工株式会社様のご支援をいただき、冬の映画上映会を開催しました。当日はまるりんも登場しクリスマスプレゼントも配布しました。



### ★ふるさとセミナー「冒険しよう」

12月2日～3日に島内の小・中学生を対象にした「冒険しよう」を開催しました。使用済みのペットボトル・竹を使ったアウトドアクッキングや、ダンボールを利用したダンボールハウスでキャンプをしました。セミナーの最後には悪戦苦闘しながらも自分たちでのこぎりや鉋を使って竹けん玉や竹ぼっくりを作りました。



## 屋久島を想う

### 『自然だけじゃない』

インストラクター 本間 詩織



屋久島といえば、豊かな森や高い山々をイメージする人が多いと思いますが、里に目を向けてみると、また違う角度から屋久島の良さを知ることができます。畑があり、水田があり、その集落の風景があり、人が行き交い、島民が暮らす時間が流れています。当たり前に見えるような光景ではありますが、私にとってはとても印象深い光景です。屋久島に赴任して1年足らずですが、まだ知らない屋久島の魅力が隠れていることに気づかされました。自然や環境問題への関心が高まっている中、財団では普段の生活や集落の風景から文化や伝統に触れていただこうと里めぐりにも力を入れています。私も屋久島の人の営みや文化を学び、それを多くの方々に紹介できるよう精進していきたいと思っています。